



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 アース製薬株式会社
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 経営統括部統括部長 (氏名) 三枚堂 正悟

TEL 03-5207-7458

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	101,062	1.4	6,494	32.8	6,696	32.1	4,044	35.3
29年12月期第2四半期	99,709	3.4	9,670	16.1	9,865	14.1	6,252	12.2

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 3,757百万円 (44.2%) 29年12月期第2四半期 6,736百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	200.17	
29年12月期第2四半期	309.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	129,480	51,815	35.7
29年12月期	118,167	50,529	38.0

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 46,224百万円 29年12月期 44,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		115.00	115.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	5.7	6,000	34.6	6,400	28.3	3,000	36.0	148.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	20,220,000 株	29年12月期	20,200,000 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	4,724 株	29年12月期	4,618 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	20,203,304 株	29年12月期2Q	20,195,537 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4'1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、国内景気は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善などを背景に、緩やかに回復しました。また、当社グループが展開に注力するアジア地域では、タイ・ベトナム・中国がそれぞれ着実な経済成長を続けておりますが、アメリカ・中国間での貿易摩擦の影響など、景気の先行きには不透明感が漂う状況であります。

このような経済状況のなか、当社グループは経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視しており、現在進行中の中期経営計画では『海外展開の強化』『グループシナジーの最大化』『収益力の向上』に加え、従来からの取り組みを発展・強化することをテーマに掲げ、中期経営目標“2020年連結売上高2,000億円、連結経常利益150億円の達成”に向けて、成長力と収益性の双方を高める経営を進めています。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、市場の低調な推移が影響し、虫ケア用品や入浴剤が前期を下回ったものの、昨年子会社化したEarth Corporation Vietnam(旧 A My Gia Joint Stock Company、前期の損益は第3四半期連結会計期間より計上)の連結寄与もあり、売上高は1,010億62百万円(前年同期比 1.4%増、計画比 95.3%)となりました。一方、利益については、物流コストの高騰、Earth Corporation Vietnamの買収に伴うのれん等の償却費の発生など計画時点で見込んでいた費用の増加に加え、虫ケア用品の減収に伴う売上総利益への影響や広告宣伝費・販売促進費の増加などにより、営業利益64億94百万円(前年同期比 32.8%減、計画比 73.8%)、経常利益66億96百万円(前年同期比 32.1%減、計画比 74.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益40億44百万円(前年同期比 35.3%減、計画比 70.9%)となりました。

なお、当社グループは虫ケア用品の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

(連結業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比	計画比
売上高	99,709	106,000	101,062	1.4%	95.3%
営業利益	9,670	8,800	6,494	△32.8%	73.8%
経常利益	9,865	9,000	6,696	△32.1%	74.4%
親会社株主帰属四半期純利益	6,252	5,700	4,044	△35.3%	70.9%

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、新製品の発売、各種プロモーション施策の実施などにより国内市場の活性化に努めるとともに、収益力の向上に向けて返品削減に関する取り組みを実施しております。また、海外ではタイ・ベトナム・中国を中心に経営資源を積極的かつ有効に投入することで、展開を拡大する取り組みを実施しております。

当第2四半期連結累計期間における当事業の業績については、主力の虫ケア用品が低調に推移しましたが、日用品を中心に売上を伸ばし、売上高は939億79百万円(前年同期比 0.7%増)となりました。一方で、売上総利益の減少に加え、マーケティング費用や物流費を中心に販管費が増加したことが影響し、セグメント利益(営業利益)は58億1百万円(前年同期比 37.3%減)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	45,294	43,852	△1,441	△3.2%
日用品部門	43,625	45,765	2,140	4.9%
口腔衛生用品	18,965	19,221	255	1.3%
入浴剤	9,315	8,812	△502	△5.4%
その他日用品	15,343	17,732	2,388	15.6%
ペット用品・その他部門	4,428	4,360	△67	△1.5%
売上高合計	93,347	93,979	631	0.7%
セグメント利益(営業利益)	9,259	5,801	△3,457	△37.3%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では5,122百万円、当第2四半期連結累計期間では4,774百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

虫ケア用品部門

虫ケア用品部門において、国内市場は販売の最盛期を迎える5月から6月の最高気温が前年を下回るなど、天候不順の影響により低調に推移しました。こうした市場推移の影響を受け、最大カテゴリーであるハエ・蚊用やゴキブリ用の売上が低迷したほか、グループ間の内部取引が減少したこともあり、国内売上高は前期を下回りました。その中で当社の市場シェアは57.4%(前年同期比+0.3ポイント)と着実に伸長しました。

一方、海外では、中国で売上を伸ばしたものの、タイでの低調な推移により、前期に比べて微減となりました。

以上の結果、当部門の売上高は438億52百万円(前年同期比 3.2%減)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、洗口液『モンダミン』が売上を伸ばし、また知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が好調を維持したことなどにより、売上高は192億21百万円(前年同期比 1.3%増)となりました。

入浴剤分野においては、錠剤タイプの『温泡』がアイテムを追加したことも寄与し売上を伸ばした一方、粉末タイプの『バスクリン』・『バスロマン』が伸び悩んだことなどにより、売上高は88億12百万円(前年同期比 5.4%減)となりました。

その他日用品分野においては、昨年子会社化したEarth Corporation Vietnam(前期の売上高は、第3四半期連結会計期間より計上)の売上寄与に加え、消臭芳香剤『スッキーリ!』や、家庭用マスク『快適ガードプロ』、保冷剤『アイスノン』などが順調に推移したこと、またタイにおいて『スッキーリ!』やエアコン洗浄剤『エアコン洗浄スプレー』を新発売したことなどにより、売上高は177億32百万円(前年同期比 15.6%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は457億65百万円(前年同期比 4.9%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品分野においては、ペット用虫ケア用品やペットケア用品が前期並みの売上を維持した一方で、ペットフードやリード・胴輪などのアクセサリ用品の売上が伸び悩みました。また、その他分野の売上が微減となり、当部門の売上高は43億60百万円(前年同期比 1.5%減)となりました。

〔総合環境衛生事業〕

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、医薬品・化粧品関連工場、包材関連工場にて原料やエネルギーコストの高騰に対応したコスト削減への動きが強まり、製造工程における効率化、工場の統廃合・集約化、海外への工場移転などが進みました。一方で、食品の異物混入問題から消費者の「安全・安心」に対する意識はさらに高まり、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、人材の育成、業務効率の改善を目的としたソフトウェア投資など、お客様のニーズに速やかに対応できる社内体制を構築するとともに、技術開発力の強化により差別化された品質保証サービスを提供することで、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は119億10百万円(前年同期比 3.2%増)、セグメント利益(営業利益)は6億84百万円(前年同期比 3.9%減)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	11,541	11,910	369	3.2%
セグメント利益(営業利益)	711	684	△27	△3.9%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では56百万円、当第2四半期連結累計期間では52百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて113億12百万円増加し、1,294億80百万円となりました。これは主に、売上債権及びたな卸資産の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて100億26百万円増加し、776億65百万円となりました。これは主に、仕入債務、未払金及び未払法人税の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて12億86百万円増加し、518億15百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.3ポイント低下し、35.7%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して21億47百万円減少し、83億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

営業活動の結果、増加した資金は33億50百万円(前年同期は61億56百万円の増加)となりました。この主な内容は、税金等調整前四半期純利益66億77百万円(同 99億23百万円)、減価償却費16億13百万円(同 13億19百万円)、のれん償却額12億88百万円(同 10億1百万円)、売上債権の増加127億75百万円(同 140億93百万円の増加)、仕入債務の増加81億15百万円(同 77億74百万円の増加)であります。

投資活動の結果、減少した資金は13億22百万円(前年同期は110億17百万円の減少)となりました。この主な内容は、有形固定資産の取得による支出10億62百万円(同 14億14百万円)であります。

財務活動の結果、減少した資金は41億42百万円(前年同期は20億23百万円の増加)となりました。この主な内容は、長期借入金の返済による支出18億36百万円(同 13億38百万円)、配当金の支払額23億22百万円(同 23億22百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月13日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,453	8,306
受取手形及び売掛金	20,661	33,378
商品及び製品	17,466	20,538
仕掛品	985	871
原材料及び貯蔵品	4,177	3,578
繰延税金資産	965	1,466
その他	2,447	2,519
貸倒引当金	△34	△43
流動資産合計	57,123	70,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,060	28,166
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,019	△13,404
建物及び構築物(純額)	15,041	14,762
機械装置及び運搬具	13,779	13,824
減価償却累計額	△9,137	△9,345
機械装置及び運搬具(純額)	4,641	4,478
土地	7,924	7,908
リース資産	520	375
減価償却累計額	△349	△258
リース資産(純額)	170	117
建設仮勘定	182	159
その他	8,112	8,366
減価償却累計額	△6,428	△6,661
その他(純額)	1,683	1,705
有形固定資産合計	29,643	29,132
無形固定資産		
のれん	14,985	13,554
その他	4,270	4,096
無形固定資産合計	19,256	17,651
投資その他の資産		
投資有価証券	7,639	7,420
退職給付に係る資産	3,510	3,593
繰延税金資産	84	143
その他	924	933
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	12,144	12,080
固定資産合計	61,044	58,864
資産合計	118,167	129,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,960	36,027
短期借入金	7,859	7,786
1年内返済予定の長期借入金	4,041	4,131
未払金	7,178	8,208
未払法人税等	1,543	3,045
未払消費税等	663	743
賞与引当金	194	206
返品調整引当金	555	1,648
その他	3,028	3,149
流動負債合計	53,024	64,946
固定負債		
長期借入金	10,354	8,748
繰延税金負債	2,413	2,360
退職給付に係る負債	571	459
資産除去債務	433	434
その他	841	715
固定負債合計	14,614	12,718
負債合計	67,638	77,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,377	3,432
資本剰余金	2,923	2,978
利益剰余金	35,449	37,171
自己株式	△14	△15
株主資本合計	41,736	43,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,377	2,183
為替換算調整勘定	357	△25
退職給付に係る調整累計額	469	498
その他の包括利益累計額合計	3,204	2,656
非支配株主持分	5,588	5,590
純資産合計	50,529	51,815
負債純資産合計	118,167	129,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	99,709	101,062
売上原価	58,700	60,418
売上総利益	41,009	40,644
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,751	2,910
広告宣伝費	5,720	6,281
販売促進費	6,429	7,175
貸倒引当金繰入額	56	7
給料及び手当	6,635	7,325
賞与引当金繰入額	162	146
役員退職慰労引当金繰入額	13	-
旅費及び交通費	861	903
減価償却費	391	549
のれん償却額	1,001	1,288
地代家賃	534	553
研究開発費	1,334	1,387
その他	5,446	5,621
販売費及び一般管理費合計	31,338	34,150
営業利益	9,670	6,494
営業外収益		
受取利息	6	11
受取配当金	54	59
受取ロイヤリティー	3	2
受取手数料	20	19
受取家賃	52	58
その他	137	199
営業外収益合計	276	351
営業外費用		
支払利息	43	62
為替差損	0	78
その他	36	8
営業外費用合計	80	149
経常利益	9,865	6,696

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	5
関係会社清算益	90	-
特別利益合計	90	5
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	33	23
特別損失合計	33	23
税金等調整前四半期純利益	9,923	6,677
法人税、住民税及び事業税	3,515	2,906
法人税等調整額	△178	△528
法人税等合計	3,336	2,377
四半期純利益	6,586	4,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	334	255
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,252	4,044

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	6,586	4,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346	△192
為替換算調整勘定	△274	△383
退職給付に係る調整額	77	32
その他の包括利益合計	149	△542
四半期包括利益	6,736	3,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,388	3,496
非支配株主に係る四半期包括利益	348	261

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,923	6,677
減価償却費	1,319	1,613
のれん償却額	1,001	1,288
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,015	1,093
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△42	△145
売上債権の増減額(△は増加)	△14,093	△12,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	△708	△2,441
仕入債務の増減額(△は減少)	7,774	8,115
その他	1,174	1,259
小計	7,363	4,685
利息及び配当金の受取額	60	70
利息の支払額	△43	△62
法人税等の支払額	△1,224	△1,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,156	3,350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,414	△1,062
投資有価証券の取得による支出	△8	△58
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,214	-
その他の支出	△521	△362
その他の収入	142	161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,017	△1,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,688	1
長期借入れによる収入	30	333
長期借入金の返済による支出	△1,338	△1,836
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,322	△2,322
非支配株主への配当金の支払額	△233	△258
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△739	-
その他	△59	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,023	△4,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,844	△2,147
現金及び現金同等物の期首残高	11,979	10,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,135	8,306

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。